



2025年4月14日

各位

会社名 株式会社ツインバード
代表者名 代表取締役社長 野水 重明
(コード番号 6897 東証スタンダード)
問合せ先 取締役企画管理本部本部長 渡邊 桂三
(TEL 0256-92-6111)

繰延税金資産の取り崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年2月期（2024年3月1日～2025年2月28日）において繰延税金資産の取り崩しをおこないます。また、2024年4月12日に公表いたしました2025年2月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2025年2月期（2024年3月1日～2025年2月28日）において、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額（損）204百万円を計上する見通しであります。

2. 2025年2月期 通期業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	10,500	200	180	130	12.22
今回発表予想（B）	10,060	4	42	△102	△9.62
増減額（B－A）	△440	△196	△138	△232	
増減率（％）	△4.2	△98.0	△76.7	－	
（参考）前期実績 （2024年2月期）	10,303	113	166	108	10.17

3. 修正の理由

為替相場の円安進行による物価高騰や家電市場の競争激化の中、当第3四半期まで業績が低調に推移したため、年末商戦や新生活商戦を含む最大需要期である当第4四半期に3合IH炊飯ジャーや匠ブランジェトースターの新色調理家電等の新製品を投入するなど収益拡大を図るべく業績改善活動を推進してまいりました。

しかしながら、新生活における消費行動の多様化により物販が比較的低調であったことや病院用冷蔵庫において案件が期末までに獲得できなかったことなどにより、下期は前年同期比増収に転じるも、上期の減収を挽回するまでには至らず、売上高は当初予想から未達となる見込みです。

利益面につきましても、売上高の減収に加えて、冷蔵庫洗濯機などの在庫が増加し倉庫代を含む物流費が当初予算を超過したこと等により営業利益は当初予想から減少となる見込みです。

また、政策保有株式の売却を当第1四半期から進めており、通期では投資有価証券売却益 115 百万円を特別利益に計上いたします。一方、上記の「1. 繰延税金資産の取り崩しについて」に記載のとおり、現時点における将来の当社の課税所得を合理的に見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、貸借対照表上に計上する繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額（損）204 百万円を計上する見込みです。

なお、配当予想につきましては、現時点におきまして修正はございません。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上